

第6回胎児治療学会プログラム

第1日目 10月10日(金)

10:00-10:05 開会の挨拶 川滝元良

10:05-10:53 一般演題1 外科疾患
座長:北川博昭

- 1・ 胎児先天性横隔膜ヘルニアの重症度予測
国立成育医療センター 周産期診療部胎児治療科 大井理恵
- 2・ 胎児胸腔羊水腔シャント術にてカテーテルトラブルを起こした例
聖隷浜松病院総合周産期母子センター周産期科 松下 充
- 3・ 胎児治療に関わる倫理的諸問題ー先天性外科疾患における出生前診断の光と陰ー
大阪府立母子保健総合医療センター 小児外科 窪田昭男
- 4・ 妊娠9週時より認められた胎児腹部腫瘍の一例
山口大学 産科婦人科 住江正大

10:53-12:05 一般演題2 双胎
座長:村越 毅

- 5・ 羊水量較差を認めるAmniotic fluid discordance症例に対するレーザー治療の適応拡大
国立成育医療センター 周産期診療部胎児治療科 林 聡
- 6・ 周期的な臍帯動脈血流異常を示すSelective IUGRを伴う一絨毛膜双胎の予後
聖隷浜松病院総合周産期母子センター周産期科 石井桂介
- 7・ 一児無頭蓋のMD双胎のTTTS予防の試み
京都府立医科大学 産婦人科 藤沢秀年
- 8・ RFA後のPump twinに突然の重症胎児機能不全を認めたTRAPの2例
北海道大学 周産母子センター 森川 守
- 9・ 周産期管理に苦慮した二絨毛膜三羊膜品胎(MD 双胎一児死亡)の1例
徳島大学 産科婦人科 加地 剛
- 10・ 双胎間輸血症候群を発症した二絨毛膜二羊膜性双胎の一例
山口大学 産婦人科 住江正大

12:05-12:15 休憩

12:15-13:15

ランチオンセミナー

『Standardization in 3D fetal cardiac scan. Made simple.』

演者: Dr. Roza Bataeva

(株式会社 メディソン・ジャパン)

13:15-13:30

休憩

13:30-16:00

シンポジウム1 胎児診断・治療をうけること～当事者の立場から

座長: 古屋眞弓、松浦公美

シンポジスト

- | | |
|-----------------------------|--------|
| 1. 陽菜子と過ごしたかった18日間 | 伊藤 薫 |
| 2. 命の時間 | 古田 忍 |
| 3. 克成はいつもここにいる～胎児診断により看取った命 | 吾孫子久美子 |

指定発言者

- | | |
|----------------|-------|
| 1. 私の体験 | 寺島美奈子 |
| 2. 胎児診断について | 鵜飼礼子 |
| 3. 健太郎くん、ありがとう | 森田弘恵 |

特別発言

後藤彰子
西畑 信

16:00-16:30

休憩—コーヒーブレイク

16:30-17:30

シンポジウム2 母性内科医の役割

座長: 萩原聡子

胎児治療を支える母性内科医の役割

国立成育医療センター 母性内科

村島温子

胎児不整脈班の胎児不整脈治療の体制に関するアンケート結果より

神奈川県立こども医療センター 母性内科

萩原聡子

17:30-18:30

特別講演

座長: 左合治彦

胎児治療と臨床試験

演者: 大橋 靖雄 (東京大学大学院医学研究科 公共健康医学専攻生物統計学)

19:00-21:00

懇親会

レストラン『英一番館』 (神奈川県民ホール6F)